

創作フェアリーテイルの起源と現在

2012/11/6 芦田川 祐子

I. フェアリーテイル（おとぎ話、fairy tale）とは

- ・「子供に聞かせる伝説・昔話など。『桃太郎』『かちかち山』の類。また、比喩的に、現実離れした空想的な話」（『大辞泉（増補・新装版）』（1998年））
- ・「昔話は口伝えされてきたおとぎばなしである」（→小澤 p.1）「語り方に一定の型がある。時代・場所・人物が特定されない。信じなくてよい話」（p.12）
- ・超自然の要素（“Faerie”→トーキン）を含む、比較的短い物語
- ・伝説、昔話、民話、妖精物語、フォークテイル（folktale）、メルヘン（Märchen）、童話

II. フェアリーテイルの種類

- ・語られるものと書かれたもの
- ・「口承民話」と「文芸おとぎ話」（→ザイプス pp.31-32）
- ・古典的と革新的、童話と反童話、子ども用と大人用、パロディ
- ・伝承フェアリーテイルと創作フェアリーテイル

III. 創作フェアリーテイルの起源

1. ヨーロッパ

- ・シャルル・ペロー『過ぎし日の物語集または昔話集・教訓つき』（1697）
- ・グリム兄弟『子どもと家庭の童話集』（1812-57）→エリス
- ・アンデルセン 童話（1835-72）
- ・フランス宮廷系とドイツロマン派系（Anita Moss, “Varieties of Literary Fairy Tale” . *Children’s Literature Association Quarterly* 7.2 (1982): 15-17.)

2. イギリス

- ・チョーサー『カンタベリ物語』（c.1386-1400）
- ・スペンサー『妖精の女王』（1590-96）
- ・シェイクスピア『夏の夜の夢』（1595-96）
- ・サラ・フィールディング『女教師』（Sarah Fielding, *The Governess*, 1749）
- ・エドガー・テイラー『ドイツ民話集』（Edgar Taylor, *German Popular Stories*, 1823）

IV. ヴィクトリア朝の創作フェアリーテイル

1. 教訓と楽しみ？

- ・キャサリン・シンクレア「すばらしいお話」(→『ねがいのかなう魔法のほね』所収：Catherine Sinclair, “Uncle David’s Nonsensical Story about Giants and Fairies” in *Holiday House*, 1839)
- ・ジョン・ラスキン『黄金の川の王さま』(John Ruskin, *The King of the Golden River*, 1841)

2. 枠物語

- ・フランシス・ブラウン『おばあさまのすばらしい椅子』(Frances Browne, *Granny’s Wonderful Chair*, 1856)

3. ことば遊び・伝統茶化し

- ・ジョージ・マクドナルド『軽なお姫さま』(George MacDonald, *The Light Princess*, 1864)

4. キリスト教？神秘

- ・ジョージ・マクドナルド『金の鍵』(MacDonald, *The Golden Key*, 1867)
- ・D. M. M. クレイク『旅のマント』(Dinah Maria Mulock Craik, *The Little Lame Prince*, 1875)
- ・オスカー・ワイルド「幸福な王子」(Oscar Wilde, “The Happy Prince”, 1888)

5. ナンセンス

- ・チャールズ・キングズリー『水の子どもたち』(Charles Kingsley, *The Water-Babies*, 1863)
- ・ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』(Lewis Carroll, *Alice’s Adventures in Wonderland*, 1865) →ガードナー

6. 心理・教訓？

- ・ルーシー・レイン・クリフォード「新しいお母さん」(Lucy Lane Clifford, “The New Mother” in *Anyhow Stories*, 1882)
- ・クリフォード「木になったトニー」(→『旅のマント』所収：Clifford, “Wooden Tony”, 1892)

7. 算数・冗談・女性

- ・ E. ネズビット「メリサンド姫」(→『ヴィクトリア朝妖精物語』所収：E. Nesbit, “Melisande”, 1900)
- ・ ネズビット「最後のドラゴン」(→『ものぐさドラゴン』所収：Nesbit, “The Last of the Dragons”, 1900)

8. 悪・愚

- ・ メアリー・ド=モーガン「おもちゃのお姫さま」(→『ものぐさドラゴン』所収：Mary de Morgan, “The Toy Princess”, 1877)
- ・ ド=モーガン「フィオリモンド姫の首飾り」(→『ものぐさドラゴン』所収：de Morgan, “The Necklace of Princess Fiorimonde”, 1880)

9. 皮肉

- ・ アンドルー・ラング『プリジオ王子』(→『幸福な王子』所収：Andrew Lang, *Prince Prigio*, 1889)
- ・ F. アンスティ「妖精の贈り物」(→『ヴィクトリア朝妖精物語』所収) F. Anstey, “The Good Little Girl”, 1890)

V. 20 世紀の創作フェアリーテイル

1. 枠物語・パロディ

- ・ エリナー・ファージョン『年とったばあやのお話かご』(Eleanor Farjeon, *The Old Nurse's Stocking Basket*, 1931)
- ・ ファージョン「小さな仕立屋さん」(→『ムギと王さま』所収：Farjeon, “The Little Dressmaker”, 1938)
- ・ ファージョン『ガラスのくつ』(Farjeon, *The Glass Slipper*, 1955)

2. 伝承ふう

- ・ W. デ・ラ・メア「チーズのお日さま」(→『九つの銅貨』所収：Walter de la Mare, “The Dutch Cheese”, 1947)

3. フェミニスト

- ・ ジョーン・エイキン「オウムになった海賊と王女さま」(→『魔法のアイロン』所収：Joan Aiken, “The Parrot Pirate Princess”, 1953)
- ・ アンジェラ・カーター「血染めの部屋」(Angela Carter, “The Bloody Chamber”, 1979)

4. 暗黒

- ・タニス・リー「時計が時を告げたなら」(→『血のごとく赤く』所収: Tanith Lee, “When the Clock Strikes”, 1981)

5. ポストモダニズム

- ・ドナルド・バーセルミ「ガラスの山」(→『シティ・ライフ』所収: Donald Barthelme, “The Glass Mountain”, 1970)
- ・ジョン・シェスカ&レイン・スミス『くさいくさいチーズぼうや&たくさんのおとぼけ話』(Jon Scieszka & Lane Smith, *The Stinky Cheese-Man and Other Fairly Stupid Tales*, 1992)

6. 政治的風刺

- ・ジェイムズ・フィン・ガーナー『政治的に正しいおとぎ話』(James Finn Garner, *Politically Correct Bedtime Stories*, 1994)

VI. 創作フェアリーテイルの現在と未来?

1. 語り直し

- ・ドナ・ジョー・ナポリ『逃れの森の魔女』(Donna Jo Napoli, *The Magic Circle*, 1993)
- ・ゲイル・カーソン・レヴィン『さよなら、「いい子」の魔法』(Gail Carson Levine, *Ella Enchanted*, 1997)

2. メタフィクション

- ・ロデリック・タウンリー『記憶の国の王女』(Roderick Townley, *The Great Good Thing*, 2001)

3. さまざまなメディア

- ・絵本、ファンタジー (小説)
- ・映画、テレビドラマ、ゲーム
- ・マンガ、アニメ

4. フェアリーテイルの宿命——規則性と多様性